

上手に検診を受ける方法

- ▶ 正確な問診票記入
- ▶ 不正性器出血等の症状がある時は、
もう少しで健診だからと待たずに、受診すること。
- ▶ 結果を必ず確認すること。
- ▶ 結果に指示があればそれに従うこと。
経過を見ないと診断できない病気もあります。

任意の検査項目は、メリットとデメリットがあります。よく考えて申し込みましょう。

まとめ

今日是非覚えて帰って頂きたいこと3つ

- ① 20歳を過ぎたら、定期的に子宮頸がん検診を受けましょう。
- ② 不正性器出血時は、婦人科を受診して、子宮体がん検査を受けましょう。
- ③ 特に子宮体がん検査（子宮内膜細胞診）は、病気があっても陰性の判定ができることがあります。
 - ▶ 不正性器出血が続く時は、再検査が必要です。